平成30年７月豪雨災害

この度の豪雨災害で被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます

また、会員の皆様には残暑お見舞い申し上げます

平成30年盛夏

（一社）えひめ産業廃棄物協会

会長	西山　周	副会長	中畑孝介
副会長	岩岡一平	副会長	村上正一
専務理事	水口定臣	理事	岸本啓一
理事	貴田敏幸	理事	佐々木隆二
理事	白石泰雄	理事	大森貴史
理事	西田圭三	理事	本田　明
理事	青野通久	理事	大野剛嗣
理事	今井基博	理事	濱口　誠
理事	近藤雅美	理事	田中眞二
理事	児玉誠一郎	理事	向井利幸
監事	青木美智夫	監事	桑原涼一
監事	佐伯直輝		

職員一同

平成30年７月豪雨に係る
義援金贈呈及び被災会員へのお見舞金について

平成30年７月豪雨により被災された方々を支援するため、平成30年７月23日愛媛県に対して義援金500万円を西山会長から贈呈しました。

また、今回の災害で14会員が、事務所が流出したり施設や車両が浸水する等の被害に遭われました。協会は理事会を開催し、被災された会員の方々へお見舞金を贈りました。

大洲市勝手仮置場災害廃棄物撤去支援活動について

平成30年７月豪雨による災害廃棄物の撤去活動を当協会会員がボランティアで、下記のとおり行いました。

西山会長のあいさつの後、大洲市役所職員から撤去場所について説明があり、その後会員が阿蔵地区及び田口地区に分かれて、分別されていない災害廃棄物を第４大洲市災害廃棄物仮置場（大洲地区総合運動公園）へ搬入し、14種類に分別しました。

阿蔵地区：４箇所撤去

田口地区：１箇所撤去

記

１　日　時　平成30年７月19日㈭　10：00~16：30

２　場　所　集合場所：大洲市喜多小学校北河川敷

撤去場所：大洲市阿蔵地区及び田口地区（別添地図）

３　参加者　会員32社（76名）及び協会（２名）　計78名

４　機　材　ダンプ36台　重機２台

第６回定時総会

平成30年度第６回定時総会が開催され、各議案とも原案どおり承認された。

第６回定時総会が、平成30年５月25日㈮メルパルク松山（松山市）ラフィーネで正会員268名（委任状参加を含む）賛助会員３名が出席して開催された。

中畑副会長の開会宣言があり、続いて、会員の物故者に対し黙祷を捧げた。

西山会長の開会挨拶の後、表彰式に移り、愛媛県知事から産業廃棄物の適正処理を通じて生活環境の保全に寄与した個人１名、法人２社に対して感謝状が贈呈された。

また、協会長表彰として西山会長より功績のあった方々、功労者表彰４名、優良事業所表彰７社、優良従業者表彰７名に対して表彰状と記念品が贈呈された。

表彰者を代表して知事感謝状を受賞された三共産業株式会社 代表取締役 岡本智弘氏から謝辞があった。

その後、愛媛県知事 中村時広様（代読 愛媛県県民環境部部長 金子浩一様） 愛媛県議会議長 鈴木俊広様（代読　愛媛県議会 環境保健福祉委員会 委員長 宇高英治様)、松山市長 野志克仁様（代読　松山市環境部副部長 中島郁様）から祝辞を賜った。

第６回定時総会会長あいさつ

一般社団法人えひめ産業廃棄物協会
会　長　**西　山　　周**

第６回定時総会にあたり、協会を代表してご挨拶を申し上げます。

まずは本日の総会に愛媛県の中村時広知事代理金子浩一県民環境部長様、愛媛県議会鈴木俊広議長代理宇高英治環境保健福祉委員会委員長様、松山市の野志克仁市長代理中島郁環境副部長様を始め、多数の御来賓の方々に公務多忙の中をご臨席いただき厚く御礼を申し上げます。

また、本日、表彰を受けられる皆々様には永年の協会活動へのご協力を感謝いたしますと共に心からのお祝いを申し上げます。

そして、会員の皆様には、平素より協会の事業運営に格別のご理解とご協力を頂いております事を衷心より御礼申し上げます。

当協会は、公益法人制度改革に伴い一般社団法人へ移行して、５年が経過しました。発足当時から様々な問題が山積していましたが、一つ一つ整理解決しこの３月末をもって公益目的財産残額が無くなり６月の報告をもって公益目的支出計画が完了いたしますが、一般社団法人として引き続き、地域社会の健全な発達のため指導広報事業や社会貢献事業等公益目的事業を実施してまいります。

次に、協会では、廃棄よりも再使用、再生利用を第一に考え、新たな資源の導入をできるだけ抑え、排出物を抑制していく経済社会システムである「循環型社会」を目指して、理事会で協会の名称を「えひめ産業資源循環協会」に変更することが望ましいという結論に至りました。なお、愛媛県では平成20年に循環型社会推進課に、環境省では、昨年７月に環境再生・資源循環局に、また、全国産業廃棄物連合会は今年４月から全国産業資源循環連合会へと名称を変更しています。本日の総会に名称変更を諮りますのでよろしくお願いします。

さて、産業廃棄物処理業の実態は、推定市場規模約５兆2800億円とGDPの約１％を占め、許可業者が約11万社となっておりますが、従業員数は収集運搬業で平均９人、中間処理業で平均20人と小規模事業場が大半となっております。産業廃棄物発生量は、社会資本の老朽化に伴う建設廃棄物は増加していますが、人口減少や所有意識の低下により生産量が減少しており今後も減少していくとされております。また、全国的な雇用情勢が改善する中でも、生産年齢人口は減少し、相対的に業界の労働条件は悪化し人材確保が困難になっております。

しかしながら、我々産業廃棄物処理業は、廃棄物の適正処理による生活環境の保全及

び公衆衛生の向上を図る上で必要な業であり、循環型社会を構築する上で欠かすことのできないインフラであり、その社会的位置づけは年々重くなってきております。我々が地域社会と連携し、地域の雇用創出、地域経済の発展、地域循環圏の構築等に貢献することが、産業廃棄物処理業の社会的地位を向上させ、また必要な施設の立地促進や循環型社会の構築を進める上で重要となっています。

このため、「先進的優良産業廃棄物処理業者の育成と普及拡大」及び「排出事業者の意識向上」を通じて、「良貨が悪貨を駆逐するような競争環境整備」を行い、就労環境の改善と人材育成による「業としての魅力向上」を実現できれば、社会インフラとしての産業廃棄物処理業界の持続的発展ができることとなりますので、総会後の講演として環境省の工藤様に「産業廃棄物処理業の振興方策について」ご講演をしていただくことにしました。

次に、廃棄物処理業における労働災害の発生状況は全産業の中で飛び抜けて高いことから、昨年に引き続き「平成30年度労働災害防止計画」を策定しました。会員企業が一体となり安全衛生活動に取り組むことが、従業員を守り、しいては会員企業を守ることになります。協会では、労働災害防止対策を推進し、会員企業の安全衛生水準のなお一層の底上げができるよう研修会開催やホームページ充実等による情報提供に取り組んでおります。是非とも全社で安全衛生活動を積極的に推進してください。

また、会員の皆様が、循環型社会へ適合した産業廃棄物処理業者として発展していくための、各種補助事業も行っておりますので活用していただきたいと思います。

会員の皆様には、協会の会報やホームページを通じて最新情報を提供するとともに、各種講習会、研修会も開催することとしておりますので積極的に活用していただければ幸いです。

最後に、本日は、名称変更の他、前年度の事業報告と決算の承認に加え、新年度の事業及び予算の報告、役員補欠選任を予定しておりますので、よろしくご審議のほどお願いいたしまして開会の挨拶とします。

祝　　辞

愛媛県知事　**中　村　時　広**

本日、一般社団法人えひめ産業廃棄物協会の第６回定時総会が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

貴協会におかれましては、日頃から、産業廃棄物の適正な処理はもとより、資源循環に関する調査研究や優良な処理業者の育成に努められ、循環型社会の形成と業界の健全な発展に力を尽くされており、深く敬意を表します。

また、さきほど、長年にわたる御功績により、感謝状並びに表彰を受けられました方々には、その御栄誉を心からおたたえし、今後一層の御活躍を期待いたします。

御案内のとおり、循環型社会の実現のためには、廃棄物の排出抑制に努めるとともに、環境への負荷の低減に配慮しつつ、再生利用や熱回収によって、最終処分量を可能な限り減少させ、適正に処理することが極めて重要であります。

とりわけ、廃棄物の有効活用に向けては、一般製品と比べ原材料の安定確保が難しく、コストがかさむなど、価格面等で不利なリサイクル製品を扱う循環型社会ビジネスの育成・支援を図っていくことが求められています。

県におきましては、「第四次えひめ循環型社会推進計画」に基づき、資源循環促進税を活用し、廃棄物の発生抑制や減量化を目指す研究開発への助成のほか、優良リサイクルモデルであるスゴecoの認定、リサイクル製品の販売拡大戦略構築にかかる経費の補助など、さまざまな施策を積極的に推進しているところです。

どうか皆様方におかれましては、こうした施策に御理解をいただき、今後とも、環境に配慮した持続可能な社会づくりに尽力され、「愛顔あふれる愛媛県」の実現にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、一般社団法人えひめ産業廃棄物協会のますますの御発展と、御出席の皆様方の御健勝、御活躍を祈念申し上げまして、祝辞といたします。

祝　　辞

愛媛県議会議長　**鈴　木　俊　広**

一般社団法人えひめ産業廃棄物協会の第６回定時総会が開催されるに当たり、県議会を代表してごあいさつを申し上げます。

皆様方には、日頃から、産業廃棄物の適正な処理や資源循環に関する普及・指導等の事業活動を通じて、本県の環境保全と県民の安心・安全な生活の確保のために多大の御尽力を賜っておりますことに対し、厚くお礼申し上げます。

また、先ほど表彰を受けられました皆様方には、心からお喜びを申し上げますとともに、今後一層の御活躍を期待いたします。

御案内のとおり、産業廃棄物処理業界は、不法投棄等の不適正処理の防止、最終処分場の確保のほか、安全で環境への負荷の少ない処理方法が求められるなど、多くの課題を抱えております。

こうした中、貴協会におかれましては、各々の会員が循環型社会の構築と廃棄物適正処理に努められ、調査研究や講習会等の実施、普及啓発・広報活動に加え社会貢献に励むなど、産業の健全な発展のみならず、公衆衛生の向上や生活環境の保全にまで御尽力をいただいておりますことは誠に心強い限りであり、この場をお借りして感謝申し上げます。

県議会といたしましても、循環型社会の構築に向けて全力で取り組んで参る所存でありますので、皆様方におかれましては、今後とも、県土の環境保全と県民の安心・安全な生活の確保に、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、えひめ産業廃棄物協会のますますの御発展と、御出席の皆様方の御健勝、御多幸を心から祈念いたしまして、ごあいさつといたします。

祝　　辞

松山市長　**野　志　克　仁**

本日ここに、一般社団法人 えひめ産業廃棄物協会 第６回定時総会が、多くの関係者の皆様の御出席の下、盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

皆様には、日頃から松山市の環境行政に御理解と御協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

そして、先ほど表彰を受けられた皆様には、長年にわたる廃棄物の適正処理への御尽力に敬意を表しますとともに、今後ますますの御活躍を心からお祈り申し上げます。

さて、松山市では、近い将来発生が予想されている南海トラフ巨大地震などの大規模災害発生時に、災害廃棄物を適正で迅速に処理し、早期に復旧・復興するため、本年３月に組織体制や具体的な処理方法などを「松山市災害廃棄物処理計画」に定めました。

市民の皆様をはじめ貴協会の皆様とこの計画をさらに実効性のあるものにしていきたいと考えていますので、御協力をお願いいたします。

また本市は、「環境モデル都市」として持続可能な低炭素・循環型社会の実現を目指し、これまでごみ減量や温暖化対策など様々な施策を進めています。

その成果の一つで、先日、環境省から発表された「平成28年度市民一人１日当たりのごみ排出量」が、人口50万人以上の都市の中で最少になりました。これは９年連続で最少を記録して以来、２年ぶり10回目の快挙で、貴協会の皆様はもちろん、市民の皆様や事業者の皆様の御理解と御協力のたまものです。

これからも、国から全国で23しか選ばれない環境モデル都市として環境にやさしいまちづくりを進め、一人でも多くの人が笑顔で、幸せを実感いただけるよう取り組んでまいります。

市政の推進、取り分け環境行政の推進には貴協会の御協力が必要です。今後も特別の御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人 えひめ産業廃棄物協会のますますの御発展と、本日お集まりの皆様の御活躍を心からお祈りし、お祝いの挨拶といたします。

第６回定時総会

日　時　　平成30年５月25日㈮　15：00
場　所　　メルパルク松山（郵便貯金会館）

議　　事

第１号議案　平成29年度事業報告並びに収支決算の承認に関する件
（報告事項）　平成29年度公益目的支出計画実施報告書（要約）に関する件
　　平成30年度事業計画並びに収支予算の報告に関する件
第２号議案　役員の補欠選任に関する件
第３号議案　定款第１条（協会名称）等の変更に関する件
第４号議案　総会決議事項の補正変更の委任に関する件
各議案ともに審議の結果、原案どおり承認された。

当協会名称は平成31年４月１日より
『一般社団法人えひめ産業資源循環協会』へ変わります。

本田議長

三役及びご来賓の方々

引き続き下記の演題により講演会を開催した。
演題　「産業廃棄物処理業の振興方策について」
講師　環境省環境再生・資源循環局
　　廃棄物規制課課長補佐　工藤俊祐　様

講演会の様子

工藤講師

懇親会

総会終了後、懇親会を行った。

西山会長より開会のあいさつの後、中村知事へ出馬要請状を贈呈し愛媛県知事選挙への出馬をお願いし、中村知事よりご挨拶をいただいた。また、参議院議員山本順三様、協会の西原顧問からもご挨拶を賜わり、西田顧問の乾杯の音頭により開宴、参議院議員井原巧様もお見えになりご挨拶をいただいた。多数の来賓の皆様を交えて終始、和やかな雰囲気の中で会員相互の親睦を深めた。

岩岡副会長より閉会の挨拶があり盛会裏に終了した。

西山会長より中村知事へ出馬要請

中村知事

山本議員

西原顧問

西田顧問による乾杯

井原議員

懇親風景

第６回定時総会

平成30年度　一般社団法人　えひめ産業廃棄物協会役員名簿

（平成30年５月25日）

役職名	氏　　名	所属企業	新
会　長	西　山　　周	㈱トータス・グリーン	
副会長	中　畑　孝　介	愛媛砂利㈱	
同	岩　岡　一　平	㈲伊予開発	
同	村　上　正　一	㈱イ－ジ－エス	
専務理事	水　口　定　臣	（一社）えひめ産業廃棄物協会	
理　事	岸　本　啓　一	㈱長崎商事	
同	貴　田　敏　幸	㈱みたらい	
同	佐々木　隆　二	㈲佐々木産業	
同	白　石　泰　雄	㈱三興	
同	大　森　貴　史	㈲滝野産業	
同	西　田　圭　三	㈱西田興産	
同	本　田　　明	住鉱物流㈱	
同	青　野　通　久	四国環境整備興業㈱	
同	大　野　剛　嗣	オオノ開發㈱	
同	今　井　基　博	㈱住共クリエイトサービスセンター	
同	濱　口　　誠	㈲吉田町清掃社	
同	近　藤　雅　美	一宮運輸㈱	
同	田　中　眞　二	東洋容器㈲	
同	児　玉　誠一郎	城東開発㈱	
同	向　井　利　幸	㈱フロンティアサービス四国	新
監　事	青　木　美智夫	㈱都クリーン	
同	桑　原　涼　一	桑原運輸㈱	
同	佐　伯　直　輝	佐伯公認会計士事務所	

知事感謝状贈呈者

○ 知事感謝状（個人）

岡本　智弘　殿（謝辞）
（松山市：三共産業株式会社　代表取締役）

○ 知事感謝状（法人）

建商株式会社　殿
（八幡浜市：収集運搬業）

株式会社日本有機四国　殿
（西条市：収集運搬業、中間処理業）

会長表彰受賞者

○ 功労者表彰（規定第４条２号該当）

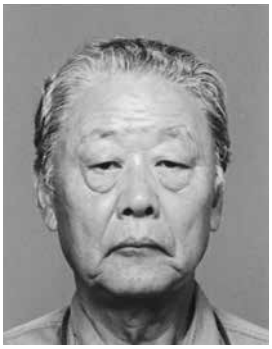
西田　圭三　殿
（大洲市　株式会社西田興産）

津吉　伸哉　殿
（四国中央市　三共エンジニアリング株式会社）

今城　靖浩　殿
（松山市　松山容器株式会社）

野中　正人　殿
（大洲市　有限会社クリーンセンター）

○ 優良事業所表彰（規定第４条３号該当）



有限会社塩﨑産業　殿
（新居浜市
代表取締役　塩﨑一夫）

新居浜清掃企業有限会社　殿
（新居浜市
代表取締役　越智　仁）

株式会社カメイ　殿
（松山市
代表取締役　亀井敬司）

株式会社みたらい　殿
（今治市
代表取締役　貴田敏幸）

株式会社カンセイ　殿
（松山市
代表取締役　長岡広城）

南予興業株式会社　殿
（八幡浜市
代表取締役　上甲清樹）

吉興株式会社
（宇和島市
代表取締役　吉田公世）

○ 優良従業者表彰（規定第４条４号該当）

日野　　敦　殿
（四国中央市
協同組合クリーンプラザ）

盛實　浩一　殿
（新居浜市
株式会社イージーエス）

村上　享史　殿
（新居浜市
株式会社イージーエス）

原田　秀男　殿
（新居浜市
株式会社フロンティアサービス四国）

谷相　直幸　殿
（松山市
大光物産株式会社）

新居田　有美　殿
（松山市
大光物産株式会社）

小澤　正則　殿
（新居浜市
株式会社フロンティアサービス四国）

功労者表彰受賞のみなさん

事業所表彰受賞のみなさん

従業者表彰受賞のみなさん

謝辞（三共産業株式会社　代表取締役　岡本智弘氏）

平成30年度　第１回企画広報委員会の開催

第１回企画広報委員会を平成30年５月９日㈬、協会会議室で開催した。

１．議　題

⑴「えひめの産廃」第21号（５月号）企画編集について

・　裏表紙写真　⑭の写真に決定
・　１-58～１-65までは掲載しない。
・　すべてのページ白黒印刷。
・　１週間以内に修正等を連絡する。

⑵　ホームページについて

・　10月11月のアクセス件数が多いが全体的に増えている。

⑶　その他

①「えひめの産廃」第22号（８月号）の表紙について

・　表表紙…８月号は国指定の「三崎のあこう樹」に決定（伊方町）
　　11月号は国指定の「一宮神社の一番樟」（新居浜市）
　　新年号は国指定の「下柏の大柏」（四国中央市）
・　裏表紙…延命寺（撮影者　貴田委員）

②次回委員会の開催日について

・　第22号（８月号）　平成30年８月８日㈬　13：30～
・　編集後記…岩田委員

上記の内容について協議し、「えひめの産廃」第21号（５月号）を５月末に発行した。

平成30年度　第１回事業委員会の開催

第１回事業委員会を平成30年７月９日㈪、協会会議室で開催した。

１．議　題

⑴　平成30年度講習会及び研修会計画について

事務局から資料に基づき、許可申請に関する講習会、愛媛県受託事業 研修会、松山市受託事業研修会及び全産連受託事業電子マニフェスト操作体験セミナーの開催計画と全産連主催人材育成プログラムに関する研修会、BCP研修会の平成30年度計画の説明があり承認された。

⑵　県外視察研修について

事務局より、資料に基づき、３月に開催される環境展2019とバスによる近県視察案について説明があり、委員から県の補助を活用した東京の環境展がよいとの発言があり、具体的計画を策定することで承認された。

⑶　四国八十八箇所遍路道清掃活動事業について

事務局より、各保健所と協議した結果松山地区又は今治地区で開催希望がある説明があり、貴田委員長から10月のしまなみサイクリング前に東予地方局今治支局不法投棄防止連絡協議会と連携して今治地区で実施をしたい意見があり承認された。

２．報告事項

⑴　平成29年度講習会及び研修会実績について

事務局より、資料に基づき実績報告があった。

⑵　その他

事務局より、事業委員会が災害支援の機材等供給班になっている旨の説明と会員の被災状況の説明があった。

平成30年度　第２回総務委員会の開催

第２回総務委員会を平成30年７月13日㈮、協会会議室で開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

１．議　題

⑴　平成30年７月豪雨による災害廃棄物対応について

事務局より、下記事項について報告

①　会員の被災状況

②　主な市町における災害廃棄物の対応状況

③　災害廃棄物処理支援ネットワーク（D.Waste-Net）の受入れについて

④　愛媛県県民環境部環境局循環型社会推進課長「混合廃棄物の処理の取扱いについて」（通知）

⑤　大洲市災害廃棄物仮置場の状況（大洲市環境センター）

⑥　大規模災害発生時における四国ブロック災害廃棄物対策行動計画

今後の対応について

①　愛媛県との「災害時における産業廃棄物処理の協力に関する協定」を締結しているが、今後、市町村との協定を締結する必要性について

②　協会として、今回の災害についての各地区会員の対応について

③　今回の災害を教訓として、今後の協会と会員の対応について

⑵　その他

平成30年度　第３回総務委員会の開催

第３回総務委員会を平成30年７月30日㈪、協会会議室で開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

１．議　題

⑴　平成30年７月豪雨災害について

事務局より、下記事項について報告・説明した。

①　会員の被災状況について

・　７月８日会員に対し調査を実施、25社が被災

・　被災会員に対する見舞金については、特定非常災害に指定されており、建物、施設及び重機が被災された場合のみ３万円支援する旨理事会に報告する。

②　災害活動支援について

・　７月19日大洲市で会員36社(78名)による廃棄物撤去活動を実施した。

③　義援金について

・　７月19日三役会で愛媛県に義援金500万円を贈呈することとし、７月23日愛媛県庁において目録を贈呈し、愛媛県豪雨災害支援金口座に振り込み。

④　災害廃棄物処理について

・　現状と契約等及び会員への斡旋等について説明した。

⑤　今後の検討課題について

・　包括契約している㈱西田興産への支援をする。

・　個別契約をしている会員への支援をする。

・　今後の災害への協会の対応検討

・　市町支援体制整備と市町との協定締結を進める。

⑵　次期役員改正について

事務局より、現在の役員選考規程について説明した。

①　平成30年末までに、総務委員会で規程の見直しを行う旨理事会に報告する。

⑶　顧問・行政懇談会について

実施時期については、12月上旬とし、行政・顧問懇談会として開催することで理事会に報告する。

⑷　新規会員加入及び退会の承認について

事務局より、７月30日現在の会員状況について報告した。

平成30年度　第２回理事会の開催

第２回理事会を平成30年７月30日㈪、協会会議室で開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

１．議　題

⑴　平成30年７月豪雨災害について

事務局より資料に基づき、会員の被災状況、災害活動支援、義援金、災害廃棄物処理及び今後の検討課題について説明があり、会長より愛媛県に対して義援金500万円の贈呈の説明と村上総務委員長より被災会員に対する見舞金については、今回特定非常災害に指定されており、建物、施設及び重機が被災された場合について、３万円見舞金を被災会員に贈りたいと提案があり承認された。

⑵　次期役員改正について

事務局より資料に基づき、現在の役員選考規程について説明があり、会長より行政指導等の規程の見直しが必要との意見と村上総務委員長から会長意見も踏まえて平成30年末までに総務委員会において検討していくとの説明があり承認された。

⑶　顧問・行政懇談会について

事務局より資料に基づき、実施時期と開催形態について説明があり、村上総務委員長から12月上旬で顧問・行政懇談会として開催する旨調整していくとの説明があり承認された。

⑷　新規会員加入及び退会の承認について

事務局より資料に基づき、退会（正会員１社）及び業態変更（２社）について説明があり、承認された。

２．報告事項

⑴　委員会報告

⑵　全産連委員会報告

⑶　その他

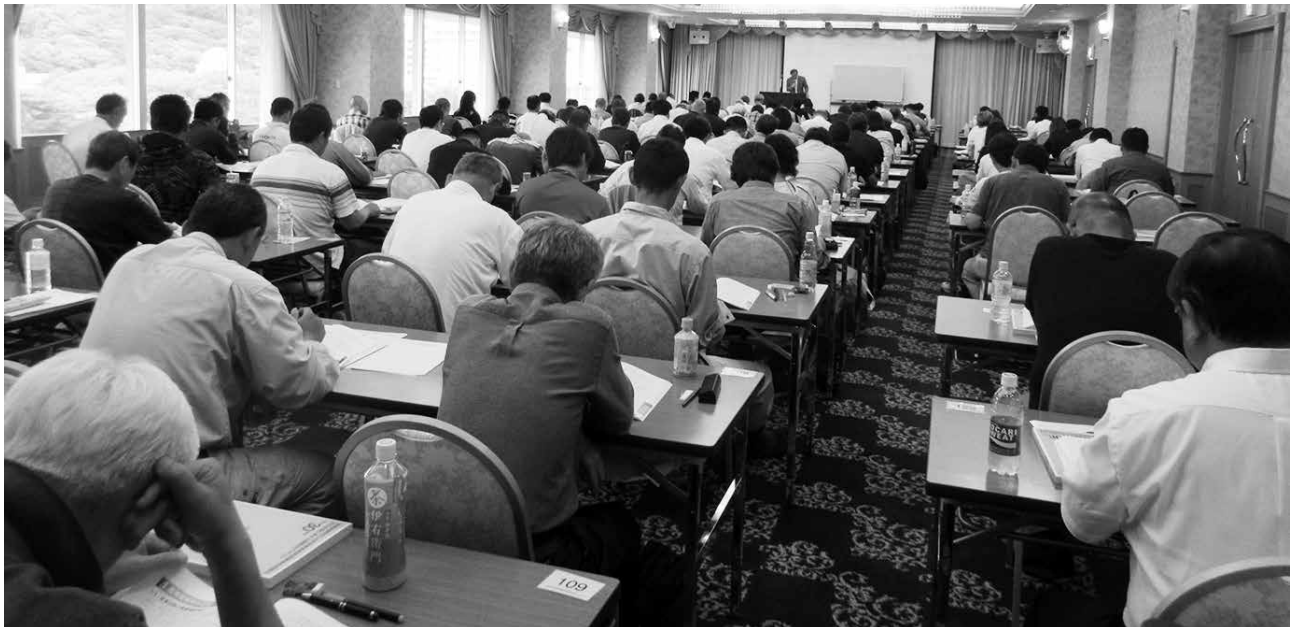
平成30年度　産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会の開催

廃棄物処理法に規定された産業廃棄物処理業の許可申請等に必要な専門的知識・技能の修得のため、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが毎年実施している講習会が松山市のリジェール松山で開催された。

○　**産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程（更新）**

開 催 日　　平成30年６月14日㈭

受講者数　　126名



平成30年度　優良産業廃棄物処理業者育成研修の開催

愛媛県からの受託事業である優良産業廃棄物処理業者育成研修会を、専門の講師を招き産業廃棄物処理業者を対象に下記の日程で開催した。

○　産業廃棄物処理の実務者研修（基礎編）

開 催 日　　７月４日㈬

開催場所　　リジェール松山

受講者数　　94名

研修内容

①　開講挨拶

②　産業廃棄物処理の基礎（講師　岩田　隆氏）

○　電子マニフェスト加入促進操作体験セミナー

開 催 日　　７月11日㈬

開催場所　　松山生涯学習センター

受講者数　　午前の部16名、午後の部12名

研修内容

① 開講挨拶

② 電子マニフェストの操作体験（講師　網谷　千里氏）

３Ｒシステム事業化促進支援事業が決定

３Ｒシステム事業化促進支援事業につきましては、４月16日から５月25日まで会員に対して募集したところ、４件の応募があり、６月５日事業審査会を開催して学識経験者及び行政による厳正な審査をしたところ、全件とも採択されました。

また、協会が行う３Ｒシステム等調査研究事業については、昨年に引き続き、検討会を設置し再資源化方策について調査検討を行うとともに、災害時のBCP計画策定について理解促進を図るための講演会『産業廃棄物処理業におけるBCP計画策定について』を11月頃に開催するとともに、災害時に協力・支援可能な資機材調査を行いますので、会員の皆様の積極的なご参加をお願いします。

補助金の種類	補助対象事業	補助率	採択事業	補助額
３Ｒシステム事業化促進支援事業費補助金（会員）	**ア　研究・開発事業** 県内の産業廃棄物の３Ｒ及び減量化・製品化に資するための研究・開発及びそれを踏まえた機器整備	**３/４以内** 補助限度額 500万円	㈱住共クリエイト サービスセンター 再生重油の低灰分化研究	400万円
			㈲ジー・シー・オー 過熱水蒸気によるリサイクル 事業化技術研究開発	400万円
			㈱イージーエス イオン交換樹脂による廃液処理と金属回収の効率化研究	400万円
	イ　技術・設備導入事業 産業廃棄物の３Ｒ及び減量化・製品化の推進に係る技術及び設備の導入	**１/３以内** 補助限度額 500万円	㈱ロイヤルアイゼン 食品リサイクル堆肥化 設備導入事業	400万円
３Ｒシステム等調査研究事業（協会）	**調査研究事業費** 産業廃棄物の３Ｒのリサイクルシステム、新たな再資源化技術、災害時のBCP計画・災害廃棄物処理計画の策定等に資する調査研究	**３/４以内**	えひめ産業廃棄物協会 ３Ｒシステム技術研究調査事業	200万円